

平成29年度 西東京市公民館 事業評価表

※ 評価欄 A～D
 A ..十分達成している
 B ..概ね達成している
 C ..今後の努力が必要
 D ..達成できていない

【目的】 西東京市公民館事業評価は、公民館が持つ機能の充実を目指し、事業の改善を図ることを目的とする。

平成29年度 西東京市公民館 事業方針	西東京市公民館事業評価の指標	
<p>【基本方針】</p> <ul style="list-style-type: none"> 西東京市公民館は、生活課題や地域課題を見据え、地域づくりにつながる視点を持って幅広く学習機会を提供し、課題解決に取り組む住民の主体的な学びを支援する事業を実施していきます。 人と人とのつながりを大切に地域社会を創造していくために、住民が学び、活動、交流する場として、6館の公民館が十分に機能するように運営していきます。 だれもが学び集うことができるように、障がい者や外国人などの社会的に制約を受けやすい人に配慮します。 	<p>【重点的に取り組む課題】</p> <p>1、地域の複雑化する課題 地域の課題は多様化、複雑化しています。これらの課題に対する、市民主体の解決を支えるために、公民館は地域の諸団体や行政の諸部門との課題の共有、効果的な連携に努めます。</p> <p>2、共生社会に向けた課題 障害者差別解消法が施行され、障害がある人も当たり前に暮らせるような社会をつくることが求められています。外国籍市民は増加し、性的少数者の人権保障についても語られるようになってきました。多様性を認め合う社会を地域から作り上げることに取り組みます。</p> <p>3、循環型学習を支えるための課題 学んだことを地域に還元していく仕組みを整備していくことは、社会教育施設である公民館の大きな役割です。官民間問わずさまざまな学習機会や施設がある現在、公民館だからこそ果たせる役割を、学習の循環性、公共性の視点から追求します。</p>	<p>【重点施策】</p> <p>1、障がい者学級のあり方の展望 引き続き、くろみ・あめんぼ両学級(障がい者学級)の運営体制を見直し、事業の改善に努めています。</p> <p>2、地域と共同の事業実施 地域の諸団体と、ニーズに応じた連携を市内全域にわたって行います。</p> <p>3、公民館事業・運営への市民参加の促進 利用者どうし、利用者と職員の見聞交換の場を充実させ、事業の企画や館の運営への参加を促します。</p>

項目	評価区分	評価内容	実績指標	実績	公民館(1次)評価		公民館運営審議会(2次)評価	
					評価	評価及び課題 [◇..評価 ◆..課題]	評価	評価及び課題 [◇..評価 ◆..課題]
(1) 学級・講座	個別事業	<p>【地域課題学習の提供・学習ニーズの反映】 地域や市民の実態、学習ニーズを反映した事業の実施に努めたか 市民が参加しやすい工夫を凝らしたか</p>	<ul style="list-style-type: none"> 地域課題の取り上げ 現代的課題の取り上げ 市民の学習ニーズ反映の内容 新たな利用者の開拓 教育計画の反映 	<ul style="list-style-type: none"> * 全事業数 105件 地域課題の取り上げ 17件(16.2%) 現代的課題の取り上げ 12件(11.4%) 市民の学習ニーズ反映の内容 14件(13.3%) 新たな利用者の開拓 45件(42.9%) 教育計画の反映 67件(63.8%) 	B	◇教育計画の反映に努め、新たな利用者層の開拓に意識的に取り組んだ。 ◆より地域を知り、地域課題の把握に取り組む必要がある。	B	◇実績指標が多岐にわたっていたにもかかわらず、実績を上げられたことについて評価できる。 ◆地域課題の把握については、地道なデータの積み上げ、情報の共有など大変なエネルギーが必要であると思われるので、取り組むべき重要課題の絞り込みをしていく必要があると思われる。
		<p>【学習者の視点】 学習者の視点に立った、適切な事業実施ができたか</p>	<ul style="list-style-type: none"> アンケートによるプログラム・講師・運営に対する学習者の満足度 	学習者の声 (A:満足 B:ほぼ満足 C:やや不満 D:不満) プログラムの満足度/AとBが合わせて 98.5% 講師の満足度/AとBが合わせて 99.5% 運営の満足度/AとBが合わせて 99.0%	A	◇アンケート結果、学習者の声から、事業・講座の満足度は高いと評価できる。 ◆引き続き参加者の評価をきめ細かく分析し、次の計画につなげていく必要がある。	A	◇学習プログラムや運営の様子から、学習者の視点に立った工夫や努力が窺え、それがアンケートにも反映されており高く評価できる。 ◆このような内容のプログラム提供を期待するとともに、満足度が低かった内容については、プログラム内容の改善につながるヒントがあると思われるので検討されたい。
		<p>【プロセス重視の運営】 プロセス重視の事業企画・運営に努めたか 市民の主体性を尊重し、自治能力の向上につながる学習の支援ができたか</p>	<ul style="list-style-type: none"> 準備会 実行委員会 参加型の学習(グループワーク、ワークショップ等)の工夫 相互学習 学習成果の発表 	<ul style="list-style-type: none"> 準備会 16件 実行委員会 11件 参加型の学習の講座実施数 49件 相互学習 11件 学習成果の発表 20件 	B	◇参加型学習は多くの講座に取り入れられており、学習者の主体性や講座運営のプロセスを重視し行われている。 ◆市民ニーズを反映するため、多くの方が参加できる準備会方式で事業を企画する必要がある。	B	◇プロセス重視は、市民が主体の公民館にとって、大変重要である。事業終了後の「見える化」も評価できる。 ◆準備会も「誰が」参加するかが肝心であり、職員、専門員がアンテナを張り巡らせて、新たな市民を掘り出す努力が必要。
		<p>【協働・連携、協力の視点】 協働や連携の視点で事業を企画・実施することができたか</p>	<ul style="list-style-type: none"> 他課との協働・連携、協力 他教育施設との協働・連携、協力 他公共機関との協働・連携、協力 地域NPO等との協働・連携、協力 市民サークルとの協働・連携、協力 地域の人材との協働・連携、協力 	<ul style="list-style-type: none"> 協働・連携 23件 協力 25件 	B	◇関係機関等との協働、連携、協力は進んでいるが、課題の共有と相互理解を考えた事業展開には至っていない。 ◆30年度評価で協働、連携、協力それぞれの取組みの現状分析と課題の整理をする必要がある。	B	◇他機関との協働、連携は、地道な平常時からの活動・交流が大切であるが、これらについても少しづつ進んでいると思われる。 ◆協働、連携といった課題は、相手の対応にも配慮しなければならないので、大変難しいところであるが、特に学校関係との協働、連携の強化が望まれるところである。
		<p>【だれもが学べる学習機会の提供】 社会的に制約を受けやすい人への配慮も含め、幅広い対象に向けて、学習の機会を提供することができたか</p>	<ul style="list-style-type: none"> 青少年対象・親子対象・高齢者対象・子育て中の女性対象・高齢者対象・障がい者対象・外国人対象などへ向けた事業実施 学習支援保育事業(※1)の実施 	一般対象 40件/青少年対象(小学生 9件、中学生 3件)/親子対象 14件/成人対象 24件/高齢者対象 5件/子育て中の女性対象(学習支援保育) 6件/子育て中の女性対象 1件/子育て中の保護者対象(学習支援保育) 1件/子育て中の保護者対象 1件/男性対象 1件/女性対象(学習支援保育) 4件/女性対象 1件/勤労者対象 3件/障がい者対象 2件/外国人対象(学習支援保育) 1件/外国人対象 1件/多世代交流 8件/その他 0件/学習支援保育付き事業 11件	A	◇幅広い層の多様なニーズに応えた、様々な課題への取り組みは、全館が協力して、計画的に事業を企画、実施した。 ◆地域の課題を反映した事業を実施するため、今後は、各館が地域課題を整理し計画的に事業を企画、実施していく必要がある。	A	◇社会的制約を受けやすい層に対する取り組みにも配慮されていて、事業内容も評価できる。 ◆各館で同じような企画が実施されているが、その内容に少し差違が見られたが、公民館としての整理をして指標を明確に各館共通認識の上に立って実施されたい。
		<p>【学びの課題】 多様な地域課題や社会的課題に対して、解決に向けた学習の機会を提供することができたか</p>	<ul style="list-style-type: none"> 子育てに関する事業、環境に関する事業、人権、平和に関する事業、男女共同、生きがい、仲間づくりに関する事業等の実施 	<ul style="list-style-type: none"> * 全事業数 105件 子育て 15件/家庭教育 5件/食育 5件/健康 7件/男女共同参画 1件/女性の生き方 3件/高齢者問題 3件/高齢社会 2件/防災 7件/障がい者 4件/労働 5件/貧困問題 3件/人権 5件/平和 1件/環境 6件/国際理解 1件/多文化共生 3件/まちづくり 9件/メディアリテラシー 3件/仲間づくり 34件/生きがいづくり 17件/その他 11件 	A	◇全館で各世代の様々な課題や誰もが等しく生きるための課題等を取り上げた事業を実施した。 ◆実施事業のバランスと各館事業に地域課題が反映されているか検証する必要がある。	A	◇各館で多様な企画を実施し評価を得られていることは、公民館事業の存続に大きな力となっている。 ◆各館の地域課題がそれぞれに反映されているかの検証、および専門員の得意分野が、館の事業にどう反映しているか検証し、今後の事業展開の指針の一つにされたい。
	重点課題	重点課題に取り組んだか	<ul style="list-style-type: none"> 1、地域の複雑化する課題 2、共生社会に向けた課題 3、循環型学習を支えるための課題 	<ul style="list-style-type: none"> 1、地域の複雑化する課題 5件 2、共生社会に向けた課題 8件 3、循環型学習を支えるための課題 3件 	B	◇全館で重点課題を取り上げた事業を実施した。 ◆各館事業に地域課題が反映されているか検証する必要がある。	B	◇全館で重点課題に取り組んだことは評価できる。 ◆重点課題としては、その事業内容に少し力の入れ方が不足していたと思われる。

		重点施策	重点施策に取り組んだか	1. 障がい者学級のあり方の展望 2. 地域と共同の事業実施 3. 公民館事業・運営への市民参加の促進	1. 障がい者学級のあり方の展望 2件 2. 地域と共同の事業実施 8件 3. 公民館事業・運営への市民参加の促進 7件	B	◇重点施策に取上げた、障がい者学級の課題の一定の整理が行われた。 ◆地域との共同事業は進んでいるが、課題を共有し相互に理解し合い事業を展開するためには検討が必要である。	B	◇障がい者学級の課題については多くの議論がなされ、公民館職員、公運審の認識の統一ができた。 ◆まだまだ検討が必要である。
--	--	------	-------------	---	--	---	---	---	---

	項目	評価区分	評価内容	実績指標	実績	公民館(1次)評価		公民館運営審議会(2次)評価	
						評価	評価及び課題 [◇・・評価 ◆・・課題]	評価	評価及び課題 [◇・・評価 ◆・・課題]
(2)	施設管理	環境整備	【学習環境としての整備】 市民の学習権を保障する施設として、エコの観点に配慮しつつ、利用者が快適に使える環境整備を行う	・団体連絡箱の適切な提供 ・印刷機等の提供 ・ロビーの環境整備	・団体連絡箱利用団体数(6館合計) 419団体 ・印刷機利用件数(6館合計) 2,166件	A	◇団体連絡箱は、利用団体の備品等の保管のみならず、公民館や団体間の連絡等に活用され、公民館利用団体の交流にも活用されている。 ◆多くの団体に対し、印刷機器の利用拡大や老朽化ロビー備品(椅子・テーブル・ソファ等)の定期的な点検・修繕及び限られた予算内での買い替えも検討する必要がある。	B	◇団体連絡箱が利用団体の連絡、交流等に活用されていることを評価する。 ◆学習環境の維持のための定期的な点検修理。印刷機利用拡大のための利用方法等の確認、検討が必要。
		防災	【防災】 地域防災力の向上と防災を意識した施設管理に努める	・防災訓練の実施 ・防災対応マニュアルの作成 ・防災備品の管理 ・帰宅困難者一時滞在施設としての整備	・防災訓練の実施 ・防災対応マニュアルの整備 ・防災備品の管理 ・帰宅困難者一時滞在施設開設マニュアルの作成	B	◇各公民館で独自に防災訓練を実施した。 ◆図書館及び関係部署との連携を図り、市民と連携を強化し防災意識を深めることが必要である。今後も、公民館・図書館合同での災害訓練を実施していく必要がある。	B	◇防災訓練が各館で行われたことを評価する。 ◆全国で過去にない災害が起きている中で、公民館の「一時滞在施設」の役割が重要となる。マニュアルを検証し、一層の努力で充実させて欲しい。

	項目	評価区分	評価内容	実績指標	実績	公民館(1次)評価		公民館運営審議会(2次)評価	
						評価	評価及び課題 [◇・・評価 ◆・・課題]	評価	評価及び課題 [◇・・評価 ◆・・課題]
(3)	窓口業務	学習相談	【学習情報整理】 学習情報の収集・整理・共有化を行い、市民の学習に繋がるような情報提供を行う	・団体一覧の更新(年1回) ・団体の登録の更新(5年に1回) ・各団体の館内掲示物の整理や保管 ・チラシ、会員募集等の随時整理	・団体の定期的な活動情報の更新(年1回) ・団体の登録内容の詳細な確認(H30年度予定) ・サークル紹介冊子の作成・配布(柳沢・芝久保・谷戸・ひばり・駅前) ・サークル紹介用ファイル設置(柳沢・田無)	B	◇定期的に活動する団体の情報の更新を行い、学習情報の整理に努めた。サークル紹介資料を作成し、配布・閲覧を行っている。 ◆30年度の5年に1度の団体登録の一斉更新に向けて課題の整理等も含め効率的で合理的な更新手続きについて検討を要する。	B	◇サークル紹介冊子、サークル紹介用ファイルの整備がなされた点を評価する。 ◆団体登録の一斉更新に向けて、混乱しないように万全の準備をされたい。
			【窓口対応における学習支援】 市民の学習の質を高め、継続的なものにすることができるように学習相談を実施する	・窓口・電話による学習相談(サークル活動への参加に関する相談や受講相談等)や情報提供(公民館登録団体に関する情報等) ・学習活動を行う中で、障害になるような問題や悩みの傾聴とその解決方法の助言をする	・書面による公民館登録団体の紹介 240件 ・紹介冊子による公民館登録団体の紹介 86件 ・窓口および電話による学習相談や情報提供 437件	B	◇窓口及び電話で、市民の求めに応じ団体情報提供や学習相談を行った。 ◆利用団体の活動を継続するための相談に応じるなど、市民団体への相談・支援により一層、取り組む必要がある。	B	◇市民に対する学習相談や情報提供は良く行われている。 ◆社会活動の変化とともに相談内容にも変化がみられると思うので、それらへの対応が適切にできるよう研鑽されたい。

項目	評価区分	評価内容	実績指標	実績	公民館(1次)評価		公民館運営審議会(2次)評価	
					評価	評価及び課題 [◇・・評価 ◆・・課題]	評価	評価及び課題 [◇・・評価 ◆・・課題]
(4) 長期的視点での人づくり	学習成果 単年度	【学習の継続と成果】 事業参加者の学習活動の総括・学習成果の発表・学習の継続を支援する	・記録誌、記念誌の発行 ・主催講座からサークル化した団体数	・サークルの立ち上げ 17団体 ・公民館保育室活動の記録誌発行 5冊(各館1冊) ・主催講座の記録誌発行 3冊 ・まつり記念誌発行(田無、芝久保、谷戸)	A	◇主催講座終了後、多くの自主サークルが発足し、記録誌、記念誌も発行された。 ◆自主サークルの学習継続・成果発表の方法等の相談に応じるなど、自主サークルが継続的に学習活動を続けていくための支援が必要である。	A	◇自主サークルの発足、記録誌、記念誌の発行を評価する。 ◆サークルの活動が上手く継続できるような相談対応が必要である。
	学習成果 経年	【学びの還元】 公民館で長期的な活動を行う市民・団体を地域資源として活用するとともに、その学習成果の地域還元を支援する	・地域交流事業への参加支援 ・フェスティバル及びまつりの実施 ・公民館ロビーでの展示、発表 ・記録誌の活用 ・市民企画事業の実施(※2)	・地域交流事業 18件 ・フェスティバルの実施(柳沢、ひばりが丘、駅前) ・まつりの実施(田無、芝久保、谷戸) ・ロビーコンサートの実施(柳沢、田無、ひばりが丘) ・ロビーにおける市民団体による学習の成果発表数 90件 ・市民企画事業の実施 28件	B	◇「まつり」「フェスティバル」は、学習成果の発表の場・地域交流の場として、全館で市民参加により実施している。ロビーを活用した展示・発表も、各館で工夫を凝らして実施している。 ◆公民館での学習成果の還元や多くの市民に団体活動の意義を知ってもらう活動を行っていく必要がある。	B	◇これまで長く続いてきた市民参加による「まつり」「フェスティバル」は、市民交流の場として公民館の存在が認められていることと思われ、評価できる活動である。 ◆学習の成果をどう見せて行くか、今後の活動に新しい市民を巻き込んで行くためにも、更なる工夫が求められる。また、実行委員が固定される、高齢化しているなどの課題も大きい。真摯に課題に取り組むべき。
	地域づくり	【市民参加】 市民本位の公民館運営の実現のために、館の運営及び事業の企画・運営への市民参加を促進する	・公民館運営審議会の開催(月1回) ・事業実施のための準備会開催 ・実行委員会方式による事業の実施 ・利用者懇談会の開催	・公民館運営審議会の開催 12回 ・事業実施のための準備会 16件 ・実行委員会方式による事業の実施 11件 ・全館で年2回の利用者懇談会を定期開催 ・対象者別利用者懇談会の開催(陶芸:柳沢・芝久保、実習室:田無、集会所:保谷駅前)	B	◇市民、利用団体とプロセスを重視した意見交換を行い、公民館事業、館運営に反映させている。 ◆準備会・懇談会の参加者、団体が固定化の傾向にあり、男性、青少年、壮年等幅広い年齢層及び新規団体等の参加を促す必要がある。	B	◇利用者懇談会の実施や、実行委員会方式による実施で事業運営を行って居ることは評価できる。 ◆利用者懇談会は、カルチャーセンターと一線を画す意味でも重要な意味を成す。更なる工夫をされて利用団体全ての参加を促して欲しい。
	地域づくり	【届ける社会教育】 公民館の施設にとどまらず、市内全域で社会教育事業を実施することに努める	・他施設を利用した主催事業の実施	・他施設を利用した主催事業の実施 6件	B	◇公民館を会場に実施する事業以外に、他施設の機能を生かした事業を地域と連携し実施した。 ◆地域課題を解決する力をつけるため、課題の掘り起しや公民館以外を会場とした事業実施や情報提供などを行うなど、地域で活動する団体との連携を深めて行く必要がある。	B	◇他施設での公民館事業の実施に少しずつ取り組まれている。 ◆公民館の中に留まらず地域で活動する団体と連携を深めること、また、学校、PTAなどとの関係作りを期待したい。
	地域づくり	【公民館だより】 公民館だよりを通して、市民に公民館や地域に関する情報を発信する。	・公民館だよりでの団体紹介 ・公民館だよりでの人物紹介 ・社会教育的な課題や情報の提供	・公民館だよりで人物紹介 13件 ・公民館だよりで地域課題・地域情報等の取り上げ 5件	A	◇市民参加型のコーナーを設け、地域の情報の提供など、地域を知ってもらう情報や公民館事業への参加を促す紙面づくりに努めた。 ◆公民館事業への理解と興味を持ってもらえる内容の紙面づくりと、さらに多くの市民に読まれる工夫が必要である。	A	◇公民館だよりの編集のプロセスから、市民参加型になっていることは評価できる。 ◆今後も全戸配布の意義を確認しつつ、内容の充実にも努められたい。
	重点課題	重点課題に取り組んだか	2、共生社会に向けた課題 3、循環型学習を支えるための課題	2、共生社会に向けた課題 2件 3、循環型学習を支えるための課題 3件	B	◇障がい者青年学級の学習成果の発表の場を設けることや、くろみ学級の餅つきに自治会の方々に参加してもらうなど、共生社会に向けた取り組みを行った。 ◆循環型学習を支えるための、中期的長期的展開を視野に入れた事業の構築や人材情報の収集に取り組む必要がある。	B	◇公民館事業として、障がい者青年学級があることの意義は大きい。 ◆多様性を認める社会という理想への道のりは遠い。一步一步着実に進めてほしい。
重点施策	重点施策に取り組んだか	3、公民館事業・運営への市民参加の促進	・全館で年2回の利用者懇談会を定期開催 ・対象者別利用者懇談会の開催(陶芸:柳沢・芝久保、実習室:田無、集会所:保谷駅前) ・実行委員会方式による事業の実施 11件	B	◇利用団体間の新たな会員獲得や利用者同士の交流のため、サークル体験など、公民館活動団体同士の交流や情報発信を行った。 ◆利用者懇談会では、公民館利用団体のみならず、ロビー利用者や多くの市民の声を聞くための方法を考え、市民ニーズを把握することで、より市民に密着した事業へ取り組む必要がある。	B	◇サークル体験など新たな取り組みや利用者懇談会でのグループディスカッションは評価できる。 ◆利用者の高齢化や、利用サークルの変化などの情報を分析し、今後の利用者団体の在り方なども検討すべきである。	

■※1. 学習支援保育とは…乳幼児を育てている市民に対して、多様な学習機会を保障し、出会いと学びあいの機会を生み出すような公民館の公費保育制度です。親子の学びと成長を継続的に支え、学びの成果を地域へ発信・還元できるように支援します。

■※2. 市民企画事業とは…市内の自主グループが企画した事業を一定の審査の上、公民館事業として実施するものです。自主グループが日頃の活動で培った知恵やノウハウを生かして市民にさまざまな学習機会を提供し、地域を豊かにすることが目的です。